

🔔学校だより🔔

Obihiro Kounan Elementary School

のぞみ かね
希望の鐘



帯広市立光南小学校

《学校教育目標》

- 健康で、ねばり強い子ども
- よく考え、自ら学ぶ子ども
- 心豊かで、思いやりのある子ども
- 力を合わせ、進んで活動する子ども

令和6年4月8日 1号

夢や希望を抱き、楽しんで挑戦する かしこく・やさしく・たくましい光南っ子

56名の新入生をむかえ、342名のスタート

校長 森下 寛

この4月に着任しました校長の森下です。お世話になります。よろしくお願いいたします。

令和6年度の新学期が始まりました。時代の変化に向け求められる新たな学習や学び方に対応すべく、コロナ後のニューノーマルな教育活動を引き続き模索し、試行し、調整を図っていく年になると考えています。新たな1年へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

右の図、かなり見慣れてきているのではないかと思います。キャッチフレーズ「光南小のABC」です。今年もさらに一歩前進し、その効果を実感できるよう歩んでいきたいと思えます。

2～6年生には始業式の中で、新1年生には入学式の式辞の中で「挨拶と返事」についてお話ししました。これも「あたりまえ」の一つです。まずは、これに取り組んでみようと伝えました。

挨拶の上手な人は、人との良い出会いに恵まれます。人生においてよい出会いは宝となりますが、今求められている学びの姿は「主体的、対話的で深い学び」です。これからの社会では、対話を用いた協働の中で試行錯誤しながら課題を解決していく力が求められていることに他なりません。挨拶は学びの窓。良い出会いや友達との良い関係は、よい学びにつながります。

また、返事も身に着けてほしい「あたりまえ」の一つです。名前を呼ばれた時の返事は、みんな上手にできます。さらに、何かを教えてもらった時や頼まれたとき、分かった時や注意してもらった時の返事も明るくできると、だれからも信頼される気持ちの良い人に近づくのではないかと思います。

昨年、全国の小学校に野球のグローブをくれた大谷翔平選手が、さりげなく球場のゴミを拾う姿が話題になりましたが、これは高校時代に運気を上げようと目標にあげた行為の一つです。おそらく大谷選手にとっては、既にあたりまえの行為となり、運気を上げる以上の様々な好影響をもたらしているのではないかと思います。勉強と運動、そして、あたりまえにも、楽しく挑戦できる1年を目指していきたいと思えます。

